

# 民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

勉強シリーズ英語 仮定法の使い方・面白さ 6、7面  
日本被団協がノーベル賞を受賞 3面  
企業・団体献金と政党助成金の廃止を(下) 10、11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsin@dylj.or.jp

## まん延するオンラインカジノ



24時間、どこからでもスマホで簡単に賭けられる「オンラインカジノ」が青年に広まりを見せ、社会問題となつています。違法であるオンラインカジノの広まりにはどんな背景があるのか。自身もオンラインカジノで多額の借金を抱えた経験を持つ、公益社団法人「ギャンブル依存症問題を考える会」当事者支援部の村井良介さん(27歳、仮名)にインタビューしました。2面ではオンラインカジノをはじめとするギャンブルが、社会に与える影響と問題を考えます。  
(塩田悠玄記者)

## 青年の未来をギャンブルに奪わせるな

1000円で始めて、最後は借金300万円

### オンラインカジノ

スマホやパソコンを通じて、インターネット上で行うギャンブル(賭博)のこと。ルーレットやポーカーといった実際のカジノ施設で行われているようなギャンブルを、インターネットの仮想画面で行う。簡単に利用できる手軽さなどから、青年を中心に急速に広がりを見せている。日本では、競輪、競馬など公営ギャンブルでない賭博は刑法によって禁止されている。客としてオンラインカジノに参加し金銭を賭ければ、賭博罪にあたる違法行為となる。

僕が一番熱中したのはバ

イオンをやっていました。今やっています。株やビットコインで、最初は100円、1000円だった賭け金でしたが、どんどん額が増えて、負けが込んで3、4カ月ほどで約300万円の借金ができていました。そこから8カ月くらいで、自力で一度はギャンブルをやめましても自力でやめるのはやっぱり厳しかった。ちょっとストレスかかるとか、支払いとかが大変になるぞうつくろふかといつもと、「またギャンブルで増やそうかな」という思いに駆られて、また賭けてしまいました。二度目にまたオンラインカジノで借金をつくって、そこで「自分はギャンブル依存症なのかも」と思

「村井さんがオンラインカジノを知った経緯を教えてください。」  
僕がオンラインカジノを始めるきっかけになったのが、スポーツ選手の広告でたまたま見ているときに、海外のチームでも活躍する国内有名サッカー選手が出てくるオンラインカジノの広告を目にしました。もとからやっていた、その選手もずっと好きな選手でした。有名な選手が広告に出ているので安心してしまっただけで、はまってしまいました。本位でクリックしたのが始まりでした。

最初は100円、1000円だった賭け金でしたが、どんどん額が増えて、負けが込んで3、4カ月ほどで約300万円の借金ができていました。そこから8カ月くらいで、自力で一度はギャンブルをやめましても自力でやめるのはやっぱり厳しかった。ちょっとストレスかかるとか、支払いとかが大変になるぞうつくろふかといつもと、「またギャンブルで増やそうかな」という思いに駆られて、また賭けてしまいました。二度目にまたオンラインカジノで借金をつくって、そこで「自分はギャンブル依存症なのかも」と思

### ギャンブル依存症

ギャンブル依存症(病的賭博)は、ギャンブルへの衝動が抑制できず、経済的、社会的、精神的問題が生じているにもかかわらず、やめることができない病気。世界保健機関(WHO)は精神疾患と定義しており、世界的にその対策と治療・回復のための社会基盤づくりが課題になっている。

題を考える会の電話相談

(2面につづく)